

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Alba (アルバ)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 16日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年 11月 16日		2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○月2回の言語聴覚士の訪問へのニーズが高まっている。特にR8年度に新1年生になる児童に対する言語トレーニングを強化している。活動プログラム	担当する言語聴覚士に事前に言語トレーニングを行う児童の情報を報告している。また、発達段階に合わせたトレーニング方法を共有して、言語聴覚士不在でもある程度行えるようにしている。	言語聴覚士訪問の頻度の見直し。実施日も土曜日や祝日などの学校休校日のみ実施しているので、参加を希望しているが、利用できない保護者もいる可能性があるため、利用希望の再度聞き取りを行う。
2	○菜園活動や大型トランポリンを使っでの身体能力向上など独自の活動プログラム	外出イベントなども含めて、菜園活動などを通じて自然にふれあう機会を作ったり、大型トランポリンを使用した活動は継続しており、新しくストレッチ運動などより体を動かす機会を作っている	プログラムがあまり固定しないように、1か月の活動頻度を調整し、新しい活動の取り組みもやっている。また季節感を感じられるようなイベントも充実させていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○施設の広さ、構造化の取組み	他の施設に比べると少し狭く、個室の数と広さもあまりないため工夫が必要	不必要な物、使用頻度が低いものはまとめて整理整頓を心掛けている。また活動を分けて個室を利用したり、外出グループと分けて過密にならないように心掛けている。
2	○避難訓練やその他の非常事態に対する訓練やマニュアル作成について保護者への通知	避難訓練やその他の非常事態に対する研修・訓練・マニュアルの作成は行っているが、保護者に向けての情報共有が不足している。また連絡システムのHUGを全く閲覧しないなど無関心な保護者も一定数いるの活動を知らない保護者もいるため	事業所で使用している情報共有システム(HUG)を使って、日々の様子や写真などを毎日更新しているので研修・訓練やマニュアルの情報共有を行っている。
3	○父母会などを通じた保護者同士の関わり	去年に引き続き、父母会や外部などが参加できるイベントなどを行えてない。低学年で多動性がある子どもが多いので、より落ち着いて過ごせる活動なども取り入れているがまだまだ父母会※親子参加型を開催出来る状態にない	夏祭り・ハロウィン・クリスマスなどのイベントの際に、親子参加型にしたり、地域の人を招いたりより社会性を高めるようなイベントになるような工夫が必要。